

2019 年 2 月 4 日

(臨床研究に関するお知らせ)

兵庫県立淡路医療センターに、心不全で入院歴のある患者さんへ

兵庫県立淡路医療センターでは、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究です。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

淡路島内の急性心不全発症に関する後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

兵庫県立淡路医療センター 循環器内科 医長 藤本恒

3. 研究の目的

わが国では、未曾有の勢いで高齢化が進んでおり、それに伴い心不全患者も増え続け、まさに喫緊の社会問題となっています。心不全患者の増加を食い止めるための対策が求められており、まず、我が国の置かれている状況を正確に把握することが必要です。しかし、我が国には、急性心不全入院患者の発生率を正確に把握した疫学研究は存在しません。本研究では、淡路島内・近隣の入院施設を対象に、淡路島在住者の急性心不全入院患者数を調査し、年齢調節を行い、日本全体の現在・未来の急性心不全入院患者数の概算を行うこと目的としています。

4. 研究実施予定期間 2019 年 1 月 1 日 から 2028 年 12 月 31 日

5. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

急性心不全の患者さんで、2013 年 5 月 1 日から 2028 年 12 月 31 日までの期間中に、入院加療を要した方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別を含む心不全に関する情報です。

(3) 方法

2013 年から淡路島在住で心不全の診断で入院となった患者を抽出し、日本の現在・未来の（予測）年齢構成と年齢調節を行い、現在・未来の日本全体の心不全入院患者数を概算する予定です。

中央研究機関：

淡路医用センター

共同研究機関：全 7 施設

明石医療センター、聖隷淡路病院、東浦平成病院、順心淡路病院、洲本伊月病院、中林病院、鳴門病院

6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

8. 問い合わせ先

兵庫県立淡路医療センター 循環器内科 藤本恒
〒656-0021 兵庫県洲本市塩屋1丁目1-137
TEL: 0799-22-1200 FAX: 0799-24-5704